



85

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並に根を張る大企業

杉並区は都心に近い住宅地ですが、全国や世界を舞台に活躍する企業もあります。

高井戸のケンコーマヨネーズ株式会社は、マヨネーズ類の国内シェアが業界2位の食品会社です。業務用の販売が中心ですが、

外食チェーン店、デパ地下の惣菜売り場など、ケンコーマヨネーズの商品が使われている食品が私たちの身近なところに数多くあります。また、インドネシアの工場で製造したマヨネーズは現地のハラール認証を取得し、日本にも逆輸入され、日本を訪れるイスラム教徒の観光客に、ホテルや機内食などでの提供が計画されています。

久我山に移転して今年で72年の岩崎通信機株式会社は、通信機器の先駆け企業。日本で初めてオフィス用電話装置を製品化したことで知られています。現在の主力商品

は、業務用コードレス電話システムです。オフィスのほか、家電量販店や介護施設、発電所などでも使われています。マレーシアや香港にも法人があり、製造・部品調達などグローバルに展開しています。

2社ともに力を入れているのが、社会貢献活動。ケンコーマヨネーズは、地元への恩返しもかねて消費者と交流を深めるために、マヨネーズを一から作る調理など食にちなんださまざまな「食育」を支援しています。岩崎通信機は、創業者が学校を設立（現 国学院久我山）するなど、古くから社会貢献に努め

ていました。現在でも杉並チャリティウオークで実行委員会メンバーを務めるなど、社会貢献の活動に力を入れています。

すぎなみ学倶楽部では、区内の企業や老舗商店など多数紹介しています。（泉）

ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷産業・商業

問産業振興センター観光係☎5347-9184



86

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



## 「おこさん」と 呼ばれた蚕

すぎなみ学倶楽部HPへ

昨年、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されました。かつて杉並にも農林水産省蚕糸試験場があったことをご存じですか。東高円寺駅近くの「蚕糸の森公園」がその跡地です。現在の公園入り口の門と管理事務所の建物は当時のものを補修して利用しています。

明治時代、養蚕は農家の収入源の一つで、蚕を「おこさん」と呼んで大切に育てたそうです。当時の井荻村は、豊多摩郡（現在の杉並区・中野区・渋谷区・新宿区の一部）の中で一番盛況の養蚕村であったという記録もあります。東高円寺に蚕糸

試験場が建てられたのは明治45年、蚕種（蚕の卵）の製造と品種改良を目的とした国の重要施設でした。試験場では品種改良優先で研究が進められた中、「蚕が病気になったら、繭を作らず大損失」と蚕の病理

研究が強化されました。また、100万頭の蚕を用いて蚕の脳がホルモンを分泌することを発見した貴重な研究もありました。

昭和55年に蚕糸試験場は茨城県つくば市に移転しましたが、杉並の養蚕は現代にも受け継がれています。区内では、小学3年

生が蚕を育てて観察し、繭から糸を作る授業をしています。また、郷土博物館では、1月に親子参加の「まゆだんごづくり」を開催しています。まゆだんごは、小正月（旧暦1月15日）に稲の豊作を願い米粉で作るだんごのことですが、杉並の養蚕農家ではだんごを繭の形

に似せた楕円形にし、蚕が質の良い繭をたくさん作るように祈っていたそうです。

「すぎなみ学倶楽部」では「【証言集】杉並の養蚕と蚕糸試験場」で詳しく紹介しています。（館）



ウェブライト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷歴史▷【証言集】杉並の養蚕と蚕糸試験場

国産産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 梅雨の季節を 読書でリフレッシュ

雨が降り、外出する気分になれないときに、室内で読書さんまいで過ごすのはいかがですか。作品の世界に浸り気分もリフレッシュ。今回は「すぎなみ学倶楽部」の杉並を舞台にした書籍紹介「読書のススメ」コーナーからユニークな作品2つを紹介しま

す。  
幅広く親しまれている絵本「100万回生きたねこ」の著者である佐野洋子さんのエッセイ「役にたたない日々」。65歳から5年間にわたる荻窪での生活が「呆けつつある老人のレポート」としてつづられています。がん

に侵されながらも決して悲愴感はなく、開けっ広げに本音を語る姿は豪快です。同性や時世に向ける鋭いまなざしの一方で、物忘れ、韓流好き、見えっ張り等、普通の「バアさん」の一面も垣間見せてくれます。生きることはきれいごと

ではなく、生々しいことだと、思わずうなずいてしまう作品です。

「西荻窪キネマ銀光座」は、区内在住の作家・角田光代さんのエッセイと三好銀さんの漫画で構成された作品。西荻窪の架空の映画館で上映される23の名画について、角田さんが感想や思い出等を、三好さんが映画に触発された独自の漫画を展開しています。「ローマの休日」「エレキの若大将」等、洋の東西を問わず、年代もジャンルもさまざま。角田さんの思い出話は本人の人となり

を浮かび上がらせ、三好さんの漫画は読み手によって幾通りにも想像力をかき立てます。

「すぎなみ学倶楽部」では他にも純文学からコミックまで杉並にゆかりのあるさまざまなジャンルの本を60冊以上紹介しています。(羊)



ウェブサイト  
もあろうよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷文化・雑学▷読書のススメ - 杉並ゆかりの物語

問産業振興センター観光係 ☎5347-9184



88

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 夏に美味しい ひんやりスイーツ！

夏の強い日差しがまぶしい季節になってきましたね。暑くなると食べたくなるのが冷たくて甘いかき氷！ 最近は見ただ目がかわいくて思わず写真に撮りたくなるものもあり、人気スイーツとして雑誌などでも特集されるほど注目されています。

かき氷の歴史は古く、清少納言の「枕草子」に「あてなるもの（高貴なもの、上品なもの）」で「削り氷の甘葛（あまづら。甘味料のこと）に入りて、あたらしき鏡（かなまり。金属の椀のこと）に入れたる」（出典「完訳日本の古典12 枕草子」松尾聰、永井和子／校注・訳＝小学館）と記されており、平安時代にはもう食されていたようです。冷蔵庫や氷削機などがなかった時代、冬に寒冷地でできた天然氷を氷室で保管し、小刀で削ったそうで、上流階級の人のみが食べられる特別なものであっ

たとか。気軽にかき氷で涼をとることができる現代の私たちは幸せですね。

すぎなみ学倶楽部ではかき氷を提供しているお店を紹介しています。西荻窪の「ほわわカフェ」では、夏季限定のコーヒーや紅茶などのフラッペ（かき氷にシロップをかけたもの）が人気です。ゼリーの上に氷と自家製のシロップが重なり、さらにアイス、生クリームが盛られ、パフェのようなボリュームですが、甘すぎず風味が楽しめます。



ウェブサイトも見るよ！

すぎなみ学

検索

同じ西荻窪の「甘いっ子」は、昭和40年に開店した甘味処。乾燥杏を煮詰めたり、フレッシュなイチゴを生かしたこだわりの特製シロップに、白玉やあんこなどを添えた和テイストのかき氷が、10月上旬まで食べられます。

暑い夏、かき氷で涼んでみてはいかがでしょうか。（英）

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷食▷【特集】かき氷2015

産業界振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 語り継いでいきたい 戦争体験

第二次世界大戦の終結から今年で70年。

杉並区も昭和19年11月から20年8月まで、全部で18回の空襲に見舞われ、甚大な被害を受け、多くの方が犠牲となりました。

戦争体験者が高齢になった今、「戦争」の体験談が聞ける機会は少なくなりました。山中武子さんは「杉並光友会（杉並区原爆被害者の会）」でご自身の戦争体験を語る活動をしています。忘れたと思っていた広島での体験

を語るようになったのは、被爆から60年ほど経ち、がんを患ったことがきっかけです。幸いにも2度の手術で病気を克服。これは生きて何かをしなければと一念発起し、戦争体験を語り始めました。体験談は、失神を何度か繰り返し、まるで映画のシーンのように炎に追われたこ

とや、死が間近に迫っている人であふれかえっているところを、死体をよけながら歩いたことなど、生々しい限りです。

東京大空襲にあった奥川禮三さんは、亡くなる数年前から悲惨な戦争と空襲の体験を分かりやすく小学校の子供たちに伝える活動に取り組みました。それまでは戦争の話をしたくなかった奥川さん。しかし、晩年、戦争は絶対にしてはいけないと伝えていこうと思ったそうです。体験者が閉ざした



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

数十年の時が必要だったほど想像を絶する戦争体験。「すぎなみ学倶楽部」では「【証言集】戦争体験」を掲載しています。

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、皆で体験談を語り継ぎ、平和な世界を築いていきましょう。区は昭和63年に「杉並区平和都市宣言」をしています。（館）

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷歴史▷【証言集】戦争体験

産産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



## 秋祭りに 出かけてみては

すぎなみ学倶楽部HPへ

猛暑だった夏も過ぎ、秋の気配を感じるようになりました。どこからともなく笛や太鼓の音色が聞こえ、秋祭りの季節ですね。

秋祭りは神様に豊作を感謝する神社のお祭りですが、そもそも神社とはどういう場所かご存じですか。神社本庁のホームページによると、「神様をお招きし、その場所にお鎮まりいただいた神様へのご奉仕をする場所」とあります。

神社は、祀まつられている神様によってご利益が異なります。神明あまてらすあのみかみさまは天照大神をお祀りし、お稻荷いなぎさまは農業・商業・産業の神様です。八幡やっしやんさまは武家の神様で、源頼朝が戦勝祈願し鎌倉幕府を開いたことから武家の間で崇拜されるようになったといわれています。区内では大宮八幡宮や井草八幡宮が有名ですね。

神様へのご奉仕である「祭り」は、神社が主体で行うものを「例祭」といいますが、例祭の中でも規模が大きいものを「例大祭」といい、神社にとって最も重要な祭りです。杉並では昔から農業が盛んであったため、その年の実りに感謝をする秋祭りが「例大祭」として行われてきました。法被姿の氏子衆が神輿みこしを担いだり山車を引いたりする姿は、昔からなじみがありますが、最近では子供たちがお囃子はやしを奉納するなど、身近な行事の1つとして親しまれています。



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部では、区内20以上の神社について由来やご利益、例大祭の日程を紹介しています。氏神様に日頃の感謝を兼ねてお祭りに出かけてみてはいかがでしょうか。運気がアップするかもしれませんよ。(羊)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷文化・雑学▷寺社

問産業振興センター観光係☎5347-9184



91

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



## スポーツに親しむ

すぎなみ学倶楽部HPへ

体育の日は、1964年10月10日に東京オリンピックが開幕したことを記念し、「国民がスポーツを親しみ、健康な心を培う日」として制定された祝日です。それから56年ぶりの2020年に東京でのオリ

ンピック・パラリンピック開催が決定しました。オリンピック終了後に開催されるパラリンピックは日本パラリンピック委員会によると、「もう一つのオリンピック」という意味で、第2回目だった1964年東京大会の際に日本で名付けられた愛

称といわれています。東京大会では、世界21カ国から378人の選手が参加しましたが、2012年のロンドン大会では、参加国164カ国、選手も4237人と大きく発展しています。

区内にもパラリンピック出場を目指すアスリートがいます。東海将彦さんは、

2006年パラリンピック冬季トリノ大会アルペンスキー大回転で銀メダルを獲得。トリノ大会後のケガの後遺症と戦いながら、バンクーバー・ソチ大会の悔しさをバネに、2018年の韓国平昌大会出場に向け、トレーニングを積んでいます。

大西瞳さんは、陸上の大腿切断者クラスの100m、200m、幅跳びの日本記録（27年4月時点）を持つかわら、テレビ番組の司会者など、多方面で活躍している義足のアスリート。やはり目標はパラ



ウェブサイト  
もあるよ!

リンピック出場だそうです。

立ちただかる障害を乗り越え、強靱で卓越した心を持ち、明るくひたむきにスポーツに打ち込むアスリートの活躍を願って、心からエールを送りたいですね。すぎなみ学倶楽部では、区内でスポーツに携わる人々を紹介しています。（悠）

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷ゆかりの人々▷スポーツに携わる

産業振興センター 観光係 ☎5347-9184



92

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 公園で紅葉狩り

季節の中で、秋だけが「深まる」という言葉で表されます。日暮れが早くなり、木々が色づき、まちの景色が時間と共に変わっていく奥深いこの季節に公園を散策してみませんか。

浜田山の柏の宮公園では、シンボルツリーであるクヌギやコナラの黄葉、日本庭園の紅葉（もみじ）の色づき、春は満開の花で人々の目を楽しませた桜の紅葉と場所によって異なる趣を楽しめます。かつては旧日本興業銀行のグラウンドで、区立公園の中で最大の4万3000m<sup>2</sup>の同園には希少植物を守るために整備された水生生物の池や水田があり、自然散策にお勧めです。

紅葉が幻想的にライトアップされるのは大田黒公園。毎年行われている日没からの紅葉ライトアップは、今年は11月27日(金)～12月6日(日)。期間中は平日午後8時、土日は9時まで開園して

います。音楽評論家の故大田黒元雄氏の屋敷跡地である同公園は、荻窪駅から徒歩約10分の住宅街にあって、自然の地形を生かした回遊式庭園になっています。正門から70m続く銀杏並木も圧巻です。

紅葉は観賞だけでなく、別の楽しみ方もあります。柏の宮公園や大田黒公園など区内8カ所で、どなたでも参加できる落ち葉掃きイベント「落ち葉感謝祭2015」が12月5日(土)にあります。これは落ち葉をごみと考えずに自然の物質循環に戻していく「みどりのリサイクル」を

広めようと区と区民有志が実行委員会を結成し、18年から行っている取り組みです。集めた落ち葉は熟成させて堆肥にします。

色づく木々に感謝しつつ、紅葉を楽しみましょう。すぎなみ学倶楽部では区内の公園を紹介しています。(館)

ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷特集▷公園に行こう

産業振興センター観光係 ☎5347-9184





毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並のお土産に なみすけのスイーツ

杉並区公式アニメキャラクターのなみすけとナミー。どこのイベント会場でも登場すると子供たちだけでなく大人たちにも囲まれて大人気です。そんな愛されキャラ、なみすけのイラストが付いた和菓子と洋菓子を紹介します。

なみすけの焼き印入り「瓦せんべい」は、荻窪にある創業62年の名店で、一枚一枚手作業で焼かれています。なみすけの瞳がくっきりと再現されているところなどは、まさに職人技。サクッとした食感とふんわりとした口どけが魅力で、ついつい何枚も食べたくなる逸品です。

荻窪と阿佐谷の洋菓子店で販売中の「なみすけとナミーのマカロン」は、表面になみすけとナミーのイラスト付き。コロンとした形も相まって、見た目にも

楽しいお菓子です。表面はサクサク、中のクリームはとろりと濃厚。口いっぱい甘いバニラの風味が広がります。

このほかにも、どら焼き、ゴーフレット、野菜クッキー、サブレなど、なみすけのスイーツはまだまだあります。「すぎなみ学倶楽部」のなみすけグッズコーナーで、お好みの味を探してみませんか。どの商品も区内の店でしか手に入らないので、区外の方への贈り物にもぴったりです。

もうすぐ年末年始、さまざまな場面でちょっと目を引くなみすけのスイーツを手土産にすれば、「これは杉並区のアニメキャラクター。恐竜みただけど実は空気をきれいにする妖精なのよ」と、会話も弾みそうですね。  
(に)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷文化・雑学▷なみすけグッズ

産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 夢に向かって ステップアップ!

28年、新しい1年が始まりました。気持ちも新たに目標を立てたり、初詣で夢の実現を祈願したりと将来を考えることが多い季節ですね。今回のコラムでは、夢にチャレンジした杉並ゆかりの著名人をご紹介します。

久住昌之さんはテレビドラマにもなった漫画「孤独のグルメ」の原作者です。学生時代、初の校外アート展示をしたのが荻窪のギャラリー。漫画家デビューした22歳の頃、もう1つの顔であるミュージシャンとして初めて有料ライブを行ったのは高円寺のJIROKICHI。自身が参加するバンド「スクリーントーンズ」が制作したテーマ曲と原作を手掛けた「孤独のグルメ」は、26年にブームになりました。阿佐谷ジャズストリートにもミュージシャンとして参加し、観客が会場に入り切れないほどの人気がありました。数々の節目を杉並で迎えた

著名人の一人です。

具志堅用高さんは、ボクシングの元世界チャンピオンです。27年には、ボクシング界に多大な功績を残した人物をたたえるために創設された「国際ボクシング殿堂」に殿堂入りし、

米国ニューヨーク州での式典・パレードの様子も記憶に新しいところ。現在は西永福にあるジムで後進を育成する一方、タレントとしても活躍しています。「杉並区からいろんなスポーツのチャンピオンを生み出したいね」と語る具志堅さんの言葉にこれからの将来が期待されますね。

すぎなみ学倶楽部では、

歴史に名を連ねる人物から地域活動に力を注ぐ若者まで、杉並区にゆかりのある人々を紹介しています。さまざまな分野で成功を収めたり、活躍している人々の経験をもとに、新たな夢が生まれるといいですね。(館)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷ゆかりの人々▷著名人に聞く 私と杉並

問産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並区の交流自治体

厳しい寒さが和らくのも、もうすぐ。春の気配とともに、身も心も軽くなり「どこかへ行きたいな」と旅行を計画するのも楽しいですね。そんなとき、区の交流自治体を訪れてみてはいかがですか？

杉並区では、自然豊かな地方の自治体と交流することで、お互いの自治体が生活に活力と潤いを育むことを目的に、自治体間交流を行っています。現在、交流自治体は国内に10カ所、海外に3カ所あり、その中には区民が特別価格で泊まれる施設がある自治体もあります。

静岡県南伊豆町にある「弓ヶ浜クラブ」は、日本の渚百選の一つである「弓ヶ浜」にほど近く、夏は海水浴に最適です。春の

訪れは杉並区より一足早く、菜の花と桜を同時に楽しめるイベント「みなみの桜と菜の花まつり」が3月上旬まで開催されています。



すぎなみ学

検索

富士北麓に位置する山梨県忍野村には「富士学園」があります。世界文化遺産の構成資産の一つで、富士山の伏流水が湧く「忍野八海」も近く、そこから眺める富士山は絶景で、豊かな自然を満喫できます。なお、年に数回企画される杉並区発着のバスツアーを利用するのも大変便利です。

すぎなみ学倶楽部では、この他にも群馬県東吾妻町、福島県北塩原村などの交流自治体の情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。(鶴)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷文化・雑学▷杉並区の交流自治体と宿泊施設

産業振興センター観光係 ☎5347-9184



「すぎなみ学倶楽部」からちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 花見散歩は 楽しみましたか

今年も桜が美しい季節を迎えました。区内には善福寺公園、和田堀公園、井草八幡宮やライトアップがすてきな大宮八幡宮など、桜の名所がたくさんあります。

桜の木の下でにぎやかなうたげを催すのも花見の楽しみ方の一つですが、美しい自然の営みを鑑賞しながらの花見散歩はいかがでしょう。

馬橋の氏神様を祀った「馬橋稻荷神社」は阿佐ヶ谷駅と高円寺駅の間の住宅街にある神社です。ここにはいくつかの絵になる景色があります。まず、朱色の「一の鳥居」と桜の鮮やかなコントラスト。その奥に構えるのは縁起が良いとされる昇龍と降龍が彫られている「双龍鳥居」。また、「西鳥居」横にあるハナモモの濃いピンク色と遠くに見えるソメイヨシノとの競演、荘厳な神殿とすたれ桜のしなやかな曲線

も情緒あふれる風景です。写真を撮るにはおあつらえ向きのスポットです。

約1.5kmの間に400本もの桜がある善福寺川緑地で桜並木を見ながら、「田端神社」を訪ねるコースもおおすすめです。荻窪1丁目の閑静な住宅街にある「田端神社」は、参道の入り口にある桜のトンネルが、参拝者を出迎えます。御祭神の1つはすくにしんめい大国主命で、足痛、腰痛に靈験があるといわれ、社殿には参拝者が病気を治してもらった返礼に奉納したという杉並区有形民俗文化財指定の小槌が多数残っています。趣深い花見を楽しみながら、散策してみませんか。



すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部では区内の神社を26社紹介しています。また、特集のコーナーでは、区内のおすすめ花見スポットを紹介しています。いつもと違う花見スポットを探しに出掛けませんか。(館)

すぎなみ学倶楽部ホームページ

▷文化・雑学▷寺社  
▷特集▷お花見ポイント